

平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校カウンセラー配置事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、スクールカウンセラーが生徒の不登校や問題行動等に対応するため生徒や保護者等へのカウンセリングを行い、生徒がよりよい学校生活をおくることができるよう助言・援助を行う。事業主体である県に対し、配置に要する経費の2/3を負担する。				
	30年度概要	スクールカウンセラー	1人	年間28回	1回5時間
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	全生徒
意図(どのような状態にしたいか)	生徒が長期欠席から不登校・中途退学へ至るのを防ぎ、学校に通学できるようにする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
各種相談件数	件		147	93	150	150

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
		全校生徒に対する相談件数の率	%	目標値		17	17	17
			実績値		16.2	10.2		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	生徒や保護者からの相談に対応するための体制の整備を図ったが、前年度に比べ相談件数は減少した。	(目標達成度)	21点					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	23,497	24,014	23,224	23,224
(事業費)	[円]	466	461	463	463
(職員人件費)	[円]	23,031	23,553	22,761	22,761

【評価】

評価ランク(A~D)	C	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒の不登校や問題行動等に対応するため、生徒や保護者等へのカウンセリングを実施し、助言・指導を行った。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
生徒がよりよい学校生活を送ることができるよう、不登校や問題行動に対応するため、専門家によるカウンセリングを引き続き実施する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	小中一貫・連携教育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松第一学園において実施している義務教育9年間の連続性、発展性に留意した小中一貫教育を充実させるとともに、その成果を踏まえた小中連携教育を市内の全小・中学校で推進する。 また、中学1年時の学習面でのつまづきの解消を目的として、研究指定校3校に「中1スタートサポーター」を配置し、学力向上を推進する。
-------	--

30年度概要	小中一貫教育の成果を踏まえた全市における小中連携の推進 ・高松みらい科（環境教育・キャリア教育）、小学校英語教育の成果 ・9年間を見通した系統的・継続的な学習指導、生徒指導 各中学校区における小中交流会等の事業開催
--------	--

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------


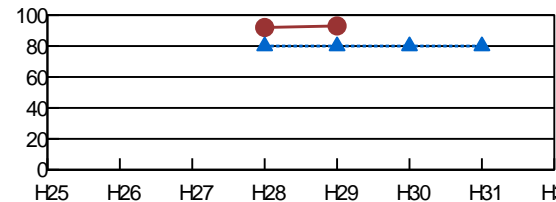

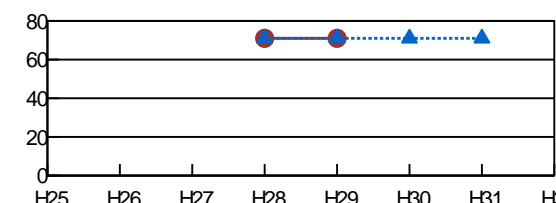
【事業の目的】

対象（何を）	高松第一学園の児童生徒 各中学校区の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	義務教育9年間の連続性、継続性・発展性に留意した学校運営を行うことにより、教育内容、指導方法等の改善を図り、子どもたちの確かな学力や豊かな人間性、健やかな体を育む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
「高松みらい科」授業時間数	時間		470	470	470	470
小中連携教育の実践中学校区数	校		23	23	23	23

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	「英語」・「高松みらい」の授業についてのアンケート支持率	%	目標値		80	80	80	80
			実績値		92	93		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「高松みらい科」にみられる、キャリア教育、環境教育などについて、小中が連携して教育を行う素地となっている。 							(達成度) 116.3% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか） 小中連携教育の実践校数	校	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 全ての小・中学校で各学校区の実情に応じた取組を行い、目標は達成できている。 							(達成度) 100.0% 35点
	小中連携教育の実践校数	校	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値		71	71	71	71
			実績値		71	71		

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	22,923	18,968	14,926	11,381
（事業費）	[円]	8,337	7,191	3,545	
（職員人件費）	[円]	14,586	11,777	11,381	11,381

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	縮小
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

今後も学習面はもちろんのこと、子どもたちの学校生活がより豊かなものになるよう、本市の教育の充実に努めていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

全体的には小中学校間の円滑な教育の接続、中1ギャップの解消を図ることを引き続き目指す。個別には学習面でのサポートの必要な子供たちへのサポートを充実させる。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校図書館活性化推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	学校図書館用図書の一層の効果的活用を図るとともに、児童・生徒の個性を伸ばす教育に資するため、学校図書館指導員を学校に配置し、情報提供等の支援を行う。児童・生徒の読書意欲を高め、学校図書館の効果的な運営を行い、本の読み聞かせなどを通して、感動する本と出会わせ、読書活動の推進を図る。学校図書館の読書活動の推進を図る。学校図書館の読書活動の推進を図る。学校図書館の読書活動の推進を図る。				
	30年度概要 小学校47校、中学校23校に学校図書館指導員を配置し、情報提供等の支援を行う。 ・指導員62人を雇用（1日6時間勤務） ・指導員研修会を実施する。 ・図書館ボランティアネットワークかがわとの協働事業の活用 ・親子読書活動の推進				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	児童生徒の読書への関心を高める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
指導員延べ年間活動日数	日		13,020	13,020	13,650	13,650

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
児童1人当たりの学校図書館図書の貸出冊数	冊	目標値		55	55	55	55
		実績値		55.7	58		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 学校図書館指導員を配置したことで、児童生徒が図書室へ足を運ぶ機会が増え、読書意欲もさらに高まっていることから、一定規模以上の学校に専任の図書館指導員を配置することが求められている。		(目標達成度)					(達成度) 105.5%
							35点
生徒1人当たりの学校図書館図書の貸出冊数	冊	目標値		12	12	12	12
		実績値		13.6	13.3		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 学校図書館指導員を全ての小・中学校に専任で配置することにより、学校図書館の運営がより活性化するものと考えられる。		(目標達成度)					(達成度) 110.8%
							35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	138,363	140,629	140,603	145,123
（事業費）	[円]	134,524	136,703	136,809	141,329
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

子ども読書活動の推進にあたっては、全ての小・中学校に学校図書館指導員を配置し、読み聞かせや図書紹介等、学校図書館の活性化を図っている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

これらの取組みをさらに充実させ、学校規模に応じて専任の図書館指導員を配置し、学校図書館の一層の充実、利用促進を図っていく必要がある。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	811-2161
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	不登校対策事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 不登校に関する援助推進委員会への意見具申に基づき、不登校対策事業・適応指導教室事業にあたる。 不登校を考える会や親の会等を開催するなど、学校と関係機関の連携強化を図る。 ICTを活用した在宅学習支援を進め、不登校児童生徒の学業不振解消や学習習慣定着の支援に努める。 不登校児童生徒への自立支援事業を推進する。
-------	---

30年度概要	適応指導教室運営の運営に加え、不登校に関する援助推進委員会や不登校を考える会を実施することで、不登校対応の環境整備を行う。また、みなみの移転拡充にそなえ、新施設の建設を進めるとともに、新施設の運営について準備を進める。
--------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市立小中学校児童生徒、保護者、学校、関係機関
意図(どのような状態にしたいか)	不登校傾向にある児童生徒の状況を把握し状態の悪化を防ぐとともに、不登校児童生徒の学業不振解消や学習習慣定着に努める。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
適応指導教室延べ開室日数	日		203	204	205	205

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	適応指導教室通室児童生徒の学校復帰率	%	目標値		50	50	50	50
			実績値		31	47.5		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 95.0%
	目標に対して9割の達成となった。	(目標達成度)						33点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	28,668	29,425	41,075	128,393
(事業費)	[円]	20,991	21,574	33,488	120,806
(職員人件費)	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

昨年度、「虹の部屋」は、通室待機者は発生しなかったが、「みなみ」は1月に3名の待機者が発生した。また、不登校児童生徒数はほぼ横ばい状態が続いている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

適応指導教室「みなみ」を移転・拡充し、平成 31年度から受け入れ許容人数を増やすとともに、カウンセラーを家庭や学校に派遣し、支援の充実を図る予定である。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	教育文化振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	教育文化祭（音楽会、科学展、展覧会等）を通して、児童生徒の豊かな創造力と表現力を育て、情操を高めるとともに、日常の学校教育活動の成果等を広く市民に紹介する。				
30年度概要	教育文化祭の開催 ・展覧会 ・音楽会 ・科学体験発表会 瀬戸・高松広域定住自立圏取組事業（文化芸術鑑賞機会等の提供）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	児童生徒の豊かな創造力と表現力を育む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
教育文化祭の開催回数	回		6	6		6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
展覧会の作品点数	点	目標値		1,400	1,400		1,400
		実績値		1,419	1,416		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標を達成することができ、児童生徒の学習活動を発表する機会として効果的であった。 (目標達成度)						(達成度) 101.1%	
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	8,359	9,547	8,930	9,953
（事業費）	[千円]	4,520	5,621	5,136	6,159
（職員人件費）	[千円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 児童生徒の学習活動を発表する機会として、効果的であった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 文化芸術教育活動の活性化を図るため、管理職研修会など機会をみて、一層の周知を図るなどの工夫を図る。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	環境教育推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市子ども環境学習交流会」を開催し、児童による各学校の環境学習の取組みの発表や、エコホテルの見学等により、環境意識の高揚を図る。また、「香川用水の水資源巡りの旅」（中学生対象）を実施し、香川用水及び水資源の重要性についての意識の高揚を図る。				
30年度概要	「高松市子ども環境学習交流会」の開催 ・小学校代表児童が参加 ・南部広域クリーンセンターで年1回開催 「香川用水の水資源巡りの旅」の実施 ・中学生対象				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	環境や自然に対する豊かな感性を高め、環境について理解を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
環境教育推進事業実施回数	校		17	23		21

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
子ども環境学習交流会参加者数	人	目標値		198	198		198
		実績値		175	166		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 環境に対する認識を深めるとともに、学校間の交流を図ることができた。							(達成度) 83.8% 29点
成果指標名（どのような成果が得られたか） 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,643	11,877	11,927	12,795
（事業費）	[円]	8,804	7,951	8,133	9,001
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 児童生徒にとって活動内容がより充実したものとなるよう交流の時間を充実させるなど活動内容を見直す。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 県事業を利用して行っている事業に関しては、申請時と実績に差を生じさせないように、学校との連絡を密に行うようにする。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	児童生徒指導推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	小学校の生徒指導の充実を図るため、学校、地域に関わりの深い人材を「ハートアドバイザー」として配置する。また、中学校の生徒指導の充実を図るため、地域ボランティアを募り、学校サポート委員会を組織し、地域の教育力を生かしながら児童生徒の健全育成を図るとともに、社会福祉士等の資格を有するスクールソーシャルワーカーを中学校に配置し、関係機関等のネットワークを活用し、暴力行為などの問題行動等の未然防止と解消を図る。また、国の「いじめ防止対策推進法」施行に伴いいじめ相談の体制強化のため「いじめ相談専門員」を配置するもの。				
30年度概要	小学校49校中40校にハートアドバイザーを配置する。 ・ハートアドバイザー40人を雇用 ・1日5時間勤務（時給980円） スクールソーシャルワーカーを中学校に配置する。 ・13人を雇用 いじめ相談専門員を配置し、相談体制の強化を図る。				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	学校の生徒指導の充実と相談体制の強化を図り、地域の教育力を生かしながら児童生徒の健全育成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ハートアドバイザー延べ支援時間数	時間		42,347	41,844	42,000	42,000
スクールソーシャルワーカー（SSW）延べ派遣回数	回		2,322	2,529	4,080	4,560

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
小学校における暴力行為の発生件数	件	目標値		25	25	25	25
		実績値		12	17		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 暴力行為発生件数等の抑制は大きな課題であるが、対象が人である限り、ハートアドバイザーの配置により、これを全て抑制することはできない。本制度により、問題の発生した後の速やかな収束、解決の一助となると考えられる。			(達成度)	132.0%			
							35点
中学校における暴力行為の発生件数	件	目標値		420	420	420	420
		実績値		176	144		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 暴力行為発生件数等の抑制は大きな課題であるが、対象が人である限り、スクールソーシャルワーカーの配置により、これを全て抑制することはできない。本制度により、問題の発生した後の速やかな収束、解決の一助となると考えられる。			(達成度)	165.7%			
							35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	112,824	120,478	122,685	130,800
（事業費）	[円]	91,098	98,260	101,214	109,329
（職員人件費）	[円]	21,726	22,218	21,471	21,471

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

学校、地域の環境整備や地域の巡回指導、その他児童生徒の健全育成に関する啓発活動の充実、個に応じたきめ細かな指導・支援が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

現状を考えると、スクールソーシャルワーカーを1校1名で配置を行い、各校の要望に応えられるよう充実を図る。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校給食推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子どもたちが学校給食を通じて、正しい食習慣や健康管理能力を身に付けることができるよう、給食関係職員への研修等により、学校における食に関する指導の充実を図るとともに、各衛生検査の実施により、衛生管理の徹底を図る。
-------	---

30年度概要	学校給食に携わる栄養教諭・栄養職員・調理従事者に対して、専門的知識等を深める研修会を実施する。学校での給食指導を実践研究している学校給食研究会に補助金を交付し、今後の給食指導に活用する。各衛生検査の実施により、衛生管理の徹底を図る。
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------


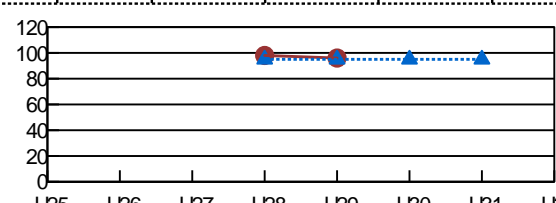
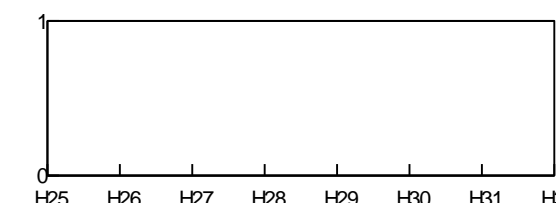
【事業の目的】

対象（何を）	栄養教諭・栄養職員・調理従事者
意図（どのような状態にしたいか）	学校給食に関する知識の習得等により、資質等の向上及び学校給食の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
研修開催回数	回		13	13	11	11

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
研修参加率	%	目標値		95	95	95	95
		実績値		98	96		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を上回ったことで、学校給食に携わる栄養教諭・栄養職員・調理従事者に対して、専門的知識等をより深めることができた。 		(目標達成度)					(達成度) 101.1% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	13,075	13,017	12,429	13,523
（事業費）	[円]	5,398	5,166	5,601	6,695
（職員人件費）	[円]	7,677	7,851	6,828	6,828

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

学校給食調理における衛生管理、調理技術、食の安全、新しい献立の開発等をテーマに研修を実施し、研修回数及び研修参加率も目標を上回ることができたが、研修内容について、栄養教諭・調理員等から様々な要望がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

研修内容について、調理現場の要望に答えるため、毎年見直しをする。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	高松市学校給食会補助事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	学校教育の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展を図るとともに食育の推進を支援することにより、子どもの心身の健全な発展並びに市民の豊かな食生活の実現に寄与することを目的とした、(公財)高松市学校給食会に補助金を交付することにより、学校給食の質の向上及び学校給食に係る保護者の負担軽減を図る。
-------	---

30年度概要	安全で安心な給食物資の低廉な価格での安定的な供給及び地場産物や旬の食材、郷土料理等を取り入れた献立の材料調達等学校給食用物資調達事業及び給食調理に使用する燃料費等について補助金を交付する。
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	----------	---------	-------------------


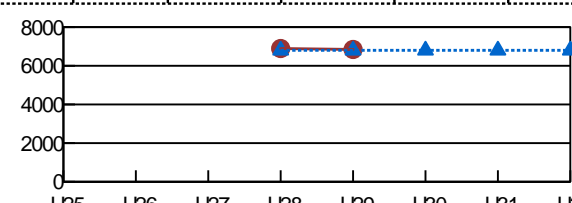
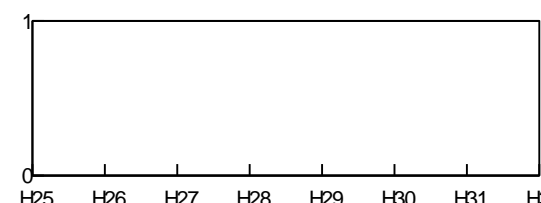
【事業の目的】

対象(何を)	市内小・中学校の児童生徒及びその保護者
意図(どのような状態にしたいか)	学校給食会の運営を円滑に行うことで、学校給食用物資を低廉な価格で安定的な供給を図ること等により、児童生徒に安全で安心な学校給食を提供するとともに、保護者の負担軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
給食実施日数(小中平均)	日		183	180	180	180

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
給食実施延べ食数	千食	目標値		6,800	6,800	6,800	6,800
		実績値		6,893	6,844		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 安全で安心な給食物資を提供するなど確実に給食用物資調達事業を行ったため、目標とした給食実施延べ食数を達成することができた。 		(目標達成度)					(達成度) 100.6% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	67,016	62,861	96,869	72,995
(事業費)	[円]	63,177	58,935	89,282	65,408
(職員人件費)	[円]	3,839	3,926	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

毎年、人件費、給食調理に使用する燃料費等を補助金として交付しているが、29年度は燃料費単価が上昇したため、補助額が増加した。燃料費単価が今後も上昇した場合は、補助額が増えることになる。
 また、学校給食会の運営において、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第202条第2項の規定による解散を回避し、運営を維持するため、臨時的に運営資金として補助金を交付したが、この補助金は、保護者負担の給食費で賄うべき食材費等の収支における補助、かつ当給食会の運営を安定させることを目的としている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

給食調理で使用する燃料について、効率的な使用を図ることで補助金額の見直しをする。
 また、学校給食会の健全な運営のため、給食会及び教育委員会が収支状況について共通の認識を持つとともに、給食会においては、法令等に関する知識の習得やコンプライアンス意識を高めるよう努める。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校体育推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童生徒の交流の場として体育大会等を開催し、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図る。
-------	--

30年度概要	小学校：水泳記録会・陸上記録会の開催、課外活動等外部講師の派遣 中学校：高松地区中学校体育大会の開催及び参加生徒輸送補助、全国中学校体育大会・四国中学校総合体育大会への参加生徒輸送補助、運動部活動外部講師の派遣等、広くスポーツ実践の機会を与え、生徒の体力・運動能力向上や基礎体力の養成を図るとともに、四国・全国体育大会参加に伴い生徒相互の友情を深めることにより、心身ともに健全な生徒の育成を図る。
--------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市立小中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	各種体育大会等を開催することで、児童生徒の体力・運動能力向上を図り、交流の場を提供する。 また、学校体育の中で、各学校の特色ある「体力向上プラン」を実践し、児童生徒の体力づくりの推進と改善に努め、運動習慣の確立を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
特色ある「体力向上プラン」を実践している小中学校	学校数		71	71	71	71

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
全国調査において本市平均が全国平均を上回るか同等の項目	項目数	目標値		13	14	14	14
		実績値		13	19		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 135.7% 35点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	54,898	42,239	42,671	48,912
（事業費）	[円]	41,386	30,462	31,290	37,531
（職員人件費）	[円]	13,512	11,777	11,381	11,381

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

小中学校男女ともに、1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の割合が減少し、小中学校女子は体力合計点が昨年度を上回り、各学校の特色ある「体力向上プラン」の実践の成果により運動習慣の定着が図られてきていると考えられる。しかし、小中学校の男女ともに、筋力・持久力が必要な種目が低水準になっており、今後の意図的な取組が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

小学生においては、低学年での運動の機会を増やし、運動量を確保することが課題であることから、運動の楽しさを実感させるため、教科指導において、運動のコツやポイントを理解させる。「できる」充実感や達成感を味わわせる。
中学校では、運動を活発に行う者とあまり行わない者との2極化傾向が見られるので、部活動だけでなく、教育活動全体を通じて体育活動を計画的・実践的に行うように年間指導計画の見直しを行っていく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	県
	事務事業	いじめ等対策事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	小学校におけるいじめ等の問題行動等に対応するため、児童の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止に資する。		
30年度概要	12学級以上（特別支援学級は除く）の小学校にスクールカウンセラーを配置し、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止に資する。 ・小学校47校中36校に配置（1日4時間、年間12回配置） ・事業に要する経費の1/2を市が負担する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市内小学校の児童、保護者、教員
意図（どのような状態にしたいか）	いじめや不登校等の重大性を認識し、正確かつ迅速な状況把握と早期解決に向けて、小学校の教育相談体制の充実を図るとともに、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
スクールカウンセラー延べ活動時間数	時間		1,680	1,703		1,800

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		小学校におけるいじめ、不登校等に関する相談件数	件	目標値		3,500	3,500	
			実績値		3,479	2,907		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 116.9%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
			実績値					
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,929	7,892	7,878	8,245
（事業費）	[円]	4,090	3,966	4,084	4,451
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
スクールカウンセラーの配置により、早期に相談を行うことで不登校やいじめ等の未然防止につながっている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
県事業に対しての負担金の支払いを行っている。学校現場からの配置時間、配置人員等の要望を伝える工夫を行い、より効果のある事業とする。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校教育における食育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、学校教育における食育の推進を図る。		
30年度概要	<ul style="list-style-type: none"> 朝日新町学校給食センターで各種食育関連行事を開催するなど、センターを食育の拠点として活用する。 市内各調理場で、調理場の状況に応じたアレルギー対応を実施する。 私立幼稚園に園児・保護者への指導を行い、幼児期からの食育を推進する。 地域の特色ある給食を提供するため、統一献立を一部変更した献立を実施する。 		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


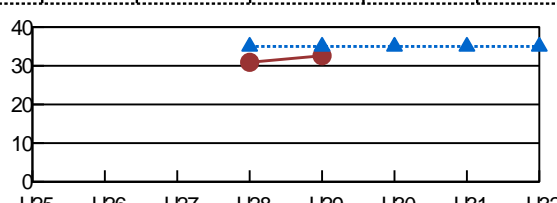

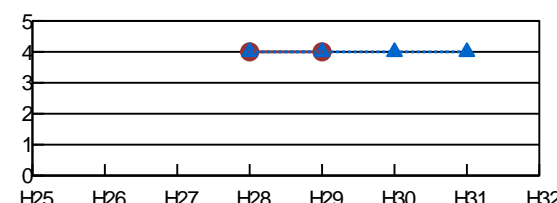
【事業の目的】

対象（何を）	小・中学校、幼稚園の児童・生徒・園児
意図（どのような状態にしたいか）	様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する知識を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
食に関する年間指導計画を作成している学校数	校		71	71	70	70
食に関する年間指導計画を作成している学校の割合	%		100	100		100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
学校給食における県産食材使用率	%	目標値		35	35	35	35
		実績値		30.9	32.6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 大量調理や食材として適さない青果物は、県産であっても、給食献立の食材にするのは難しい。また、天候不順などで生産量が不足したり価格が高騰した場合、急な献立変更などで対応することが困難なため、県産食材の優先的な活用が定着しにくいなどの理由により、目標が達成できなかった。 							(達成度) 93.1% 32点
食育セミナー開催回数	回	目標値		4	4	4	4
		実績値		4	4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 食育セミナーについては、親子料理教室・朝日新町学校給食センター見学会・子ども料理教室・収穫体験を実施して目標数値を達成した。 							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,643	12,296	12,047	12,190
（事業費）	[円]	4,360	4,445	4,460	4,603
（職員人件費）	[円]	12,283	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

朝日新町学校給食センターを食育の拠点として活用し、食育セミナーの開催や私立幼稚園の巡回指導等を実施して食育の推進に努めたが、学校給食における県産食材使用率の達成に課題が残った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

朝日新町学校給食センターを食育の拠点として活用し、食育セミナーの開催等引き続き食育の推進に努めるとともに、県産食材使用率の目標を達成することができるように、関係機関と協議する。